

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区興本小学校 校長 稲葉 守朗

1 学校教育目標

- ① 自ら考え学ぶ人
- ② 共に生きる人
- ③ 健やかに伸びゆく人

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな児童を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ児童を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる児童を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状 (令和3年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 9154 冊(蔵書基準冊数 6040 冊) / 蔵書率 152%(元年度末 142%)									
	② 新規購入図書 228 冊 / 廃棄図書 431 冊 / 増減冊数 203 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.4	0.9	4.4	5.0	11.7	3.2	2.0	6.5	3.9	60
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、月・木曜日(中休・昼休)、火曜日(昼休)(前年度からの変更なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 41.7 冊(前々年度末： 36 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 80.9%(前々年度末： 48%)									

(令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 冊(蔵書基準冊数 冊) / 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 冊(前年度末： 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 % (前年度末： %)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 学校図書館を使う授業により、本を手取る機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が60%以上	
目標達成状況		
① ② ③		

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が60%以上
目標達成状況		
① ② ③		
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上
目標達成状況		
① ② ③		
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上
		④
目標達成状況		
① ② ③		

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ ③ 学校図書館の決まりや仕組みを知り、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり100ページ以上の本を10冊以上読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上
目標達成状況	
① ② ③	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり100ページ以上の本を10冊以上読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上
目標達成状況	
① ② ③	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書のリスト作成を8月中に完了させる。新規購入図書の登録作業は図書 の到着後、速やかに行う。 ② 学校図書館案内図をボランティアと協力して4月中に完成させる。 ③ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ① 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを实践する。	

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 扇 中学校 校長 稲葉 守朗

1 学校教育目標

- ① 自ら考え学ぶ人
- ② 共に生きる人
- ③ 健やかに伸びゆく人

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状 (令和3年度末)

蔵書状況	① 蔵書数		冊(蔵書基準冊数		冊) / 蔵書率		%(2年度末		%)	
	② 新規購入図書		冊 / 廃棄図書		冊 / 増減冊数		冊			
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間:									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数					冊 (前々年度末: 冊)				
	③ 学校図書館利用率					% (前々年度末: %)				
(令和4年度末)										
蔵書状況	① 蔵書数		冊(蔵書基準冊数		冊) / 蔵書率		%			
	② 新規購入図書		冊 / 廃棄図書		冊 / 増減冊数		冊			
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間: (前年度からの変更 あり・なし)									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数					冊 (前年度末: 冊)				
	③ 学校図書館利用率					% (前年度末: %)				

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第7学年	① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 図書資料の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。	① 第7学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率80%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① ② ③	

第8学年	① いろいろな読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 課題によって学校図書やI C T機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③ 学校図書館をよりよく活用する方法を主体的に考え、規範意識の育成を図る。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、I C T機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	① 第8学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率85%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%	
目標達成状況		
① ② ③		
第9学年	① 読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やI C T機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書館をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、I C T機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりより仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	① 第9学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率90%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%	
目標達成状況		
① ② ③		
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果		
取組計画・方針		成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。 ③ 全蔵書の3割程度について、十進分類法3桁への転換作業を完了する。		
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 上級生から下級生への読み聞かせ指導、図書委員会とともに行う季節やイベントに関連した室内装飾等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 教育やキャリア教育等時期に応じた連携や共同に計画的に取り組む。 ④ POP作り、図書の紹介文の掲示等を行い、生徒による図書紹介コーナーを拡充し、親しみやすい図書室作りに取り組む。		